

# カリキュラムマップについて

本学では、講義科目を順序立てて履修するためにカリキュラムマップを作成しています。

次のページにカリキュラムマップを掲載しました。

カリキュラムマップによって以下のことがわかります。

1. 同じテーマの科目が年次進行にしたがって同じ行に表示されています。
2. それぞれの科目が何を学ぶための科目なのかが示されています。
3. それぞれの科目が、どの学位授与方針（ディプロマーポリシー）を達成するための科目なのかが示されています。
4. 専門科目や専門基礎科目と関連のある教養科目も示されています。

カリキュラム全体の構成を把握するうえでの参考にしてください。

理学療法学科 カリキュラムマップ (2020年度以降 入学生)	ディプロマポリシーとの関連							開講年次			
	理学療法を 行うための 基本的な専門 的知識・技 術を身に つけている	理学療法学 やリハビリ テーション医 学の進歩に 対応できる 能力を身に つけている	理学療法学 における課 題を論理的 に探求する 能力を身に つけている	対象者に配 慮しながら 理学療法士 として主体的 に行動でき る	医療に関わ る他の職種 の役割を理 解し、協力関 係を築くこと ができる	幅広く教養を 高める意識 と、理学療法 の発展に貢 献するという 使命感を持 っている	理学療法士 としての臨床 場面での技 能や研究に おけるコミュ ニケーション 能力を身に つけている	1年次	2年次	3年次	4年次
臨床実習と4年 間の総まとめ	○		○	○			○	701 臨床実習Ⅰ(見学実習)(N)	702 臨床実習Ⅱ(訪問・通所)(N) 703 臨床実習Ⅲ (検査測定)(N)	704 臨床実習Ⅳ(評価)(N)	705 臨床実習Ⅴ(総合)(N) 706 臨床実習Ⅵ(総 合)(N) 580 理学療法総合セミナー(L)
研究力をみがく		○	○				○	102 文章表現(A) 158 情報処理(C) 156 統計の基礎 (C)		414 医療統計学(J) 288 統計と社会調査法(H) 理学療法研究法(J) 理学療法研究セミナー(J)	601 理学療法研究Ⅰ(J) 602 理学療法研究Ⅱ(J)
医療と理学療法		○		○	○		○	282 医学概論(H) 284 リハビリテーション概論(H) 400理学 療法概論(J) 314 リハビリテーション医学(G)	164 食生活論(A) 342 リハビリテーション栄養学 (G)	410 チーム医療概論(H) 460 理学療法管理学(J) 290 地域包括ケアシステム論(H)	
基礎医学	○							202 解剖学Ⅰ(F) 203解剖学Ⅱ(F) 408 基礎解剖学 実習(J)	207 応用解剖学実習(F)		
	○				○			210 生理学Ⅰ(F) 211生理学Ⅱ(F) 150生命科学(C)	154 基礎化学(C) 214 生理学実習(F) 運動生理 学(J)	318 救急医学(G) 346 臨床薬理学(G)	
	○				○			226 運動学Ⅰ(F)	227 運動学Ⅱ(F) 230 運動学実習(F)	232 リハビリテーション工学(F)	
疾病や障害の理 解とその理学療 法	○			○				310 精神医学Ⅰ(G)	311 精神医学Ⅱ(G)		
	○			○					316 老年医学(G)	562 高齢者理学療法学(M)	
	○	○		○				262 微生物・免疫学(G) 300 病理学(G)	302 内科学(G)	520 内部障害理学療法学(L) 522 内部障害理学 療法学実習(L)	
	○	○		○				200 人間発達学(F)	308 小児科学(G)	524 子どもの理学療法学(L) 526 子どもの理学療 法学実習(L)	
	○	○		○					304 整形外科学(G)	512 運動器障害理学療法学(L) 514 運動器障害理学療法学実習(L) 508 義肢装具学(L) 510 義肢装具学実習(L) 532 徒手理学療法技術セミナー(L) 533 スポーツ領域 理学療法技術セミナー(L)	534 トレーニング・コンディショニング理学療法技術 セミナー(L)
	○	○		○					306 脳神経内科学(G)	516 神経障害理学療法学(L) 518 神経障害理学療 法学実習(L)	
	○	○		○					406 病態運動学(J) 320 リハビリテーション障害学(G) 504 基礎運動療法学(L)		
	○	○		○					336 言語障害治療学(G)	450 高次脳機能障害学(K)	
	○	○		○	○			122 現代医療と福祉・介護(B) 128 生活と社会環境 (A) 286 公衆衛生学(H) 312 終末期医療(H)	528 日常生活活動学(L)	530 日常生活活動学実習(L) 564 地域理学療法学 (M) 566 地域理学療法学演習(M)	
○	○		○				152 物理学(C)	500 物理療法学(L)	502 物理療法学実習(L)		
疾病や障害の理 学療法評価	○	○	○				442 理学療法評価学Ⅰ(K)	443 理学療法評価学Ⅱ(K) 446 理学療法評価学 実習Ⅰ(K) 447 理学療法評価学実習Ⅱ(K)	444 理学療法評価学Ⅲ(K)		
理学療法士に必 要な教養						○	○	120 日本国憲法(B) 132 キャリア入門(B)	135 キャリア形成(B)	134 キャリアビジョン(B)	
						○	○	170 英語Ⅰ(D) 171 英語Ⅱ(D)	172 英語Ⅲ(D)		
							○	178 中国語Ⅰ(D) 179 中国語Ⅱ(D)			
							○	186 ロシア語Ⅰ(D) 187 ロシア語Ⅱ(D)			
新入生に大学生 活の道標を示す								196 生涯スポーツⅠ(E) 197 生涯スポーツⅡ(E)			
								100 総合教養講座(A)			

科目名の右側のカッコ内の記号は以下に示された科目の分野を表す

教養科目 A 人間と文化 B 社会と制度 C 自然と科学 D 外国語 E スポーツと健康  
 専門基礎科目 F 人体の構造と機能及び心身の発達 G 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進 H 保健医療福祉とリハビリテーションの理念  
 専門科目 J 基礎理学療法学 K 理学療法評価学 L 理学療法治療学 M 地域理学療法学 N 臨床実習

理学療法学科 カリキュラムマップ (2019年度 入学生)	ディプロマポリシーとの関連							開講年次			
	理学療法を 行うための 基本的な専 門的知識・ 技術を身に つけている	理学療法学 やリハビリ テーション医 学の進歩に 対応できる 能力を身に つけている	理学療法学 における課 題を論理的 に探求する 能力を身に つけている	対象者に配 慮しながら 理学療法士 として主体的 に行動でき る	医療に関わ る他の職種 の役割を理 解し、協働 関係を築くこ とができる	幅広く教養を 高める意識 と、理学療法 学の発展に 貢献するこ とという使命 感を持っている	理学療法士 としての臨床 場面での技 能や研究に おけるコミュ ニケーション 能力を身に つけている	1年次	2年次	3年次	4年次
臨床実習と4年 間の総まとめ	○		○	○			○	701 臨床実習Ⅰ(N)	702 臨床実習Ⅱ(N)	703 臨床実習Ⅲ(N)	704 臨床実習Ⅳ(N) 705 臨床実習Ⅴ(N) 580 理学療法総合セミナー(L)
研究力をみがく		○	○			○		102 文章表現(A) 158 情報処理(C) 156 統計の基 礎(C)		414 医療統計学(J) 288 統計と社会調査法(H) 410 理学療法研究法(J) 412 理学療法研究セミ ナー(J)	601 理学療法研究Ⅰ(J) 602 理学療法研究Ⅱ(J)
医療と理学療法		○		○	○		○	100 総合教養講座(A) 282 医学概論(H) 284 リハビ リテーション概論(H) 400 理学療法概論(J) 314 リハビ リテーション医学(G)	164 食生活論(A) 340 臨床栄養学(G)	384 チーム医療概論(H) 402 理学療法管理学(J)	
基礎医学	○							202 解剖学Ⅰ(F) 203 解剖学Ⅱ(F) 408 基礎解剖 学実習(J)	207 応用解剖学実習(F)		
	○				○			210 生理学Ⅰ(F) 211 生理学Ⅱ(F) 150 生命科学 (C)	154 基礎化学(C) 214 生理学実習(F) 404 運動生 理学(J)	318 救急医学(G) 344 薬理学(G)	
	○				○			226 運動学Ⅰ(F)	227 運動学Ⅱ(F) 230 運動学実習(F)	232 リハビリテーション工学(F) 532 理学療法技術セミ ナーⅠ(L)	
疾病や障害の理 解とその理学療 法	○			○				310 精神医学Ⅰ(G)	311 精神医学Ⅱ(G)		
	○			○					316 老年医学(G)	562 高齢者理学療法学(M)	
	○	○		○				300 病理学(G)	302 内科学(G)	520 内部障害理学療法学(L) 522 内部障害理学療 法学実習(L)	
	○	○		○				200 人間発達学(F)	308 小児科学(G)	524 発達障害理学療法学(L) 526 発達障害理学療 法学実習(L)	
	○	○		○					304 整形外科学(G)	512 運動器障害理学療法学(L) 514 運動器障害理学療法学実習(L) 508 義肢装具学(L) 510 義肢装具学実習(L)	534 理学療法技術セミナーⅢ(L)
	○	○		○					306 神経内科学(G)	516 神経障害理学療法学(L) 518 神経障害理学療 法学実習(L)	
	○	○		○					406 病態運動学(J) 320 リハビリテーション障害学(G) 504 基礎運動療法学(L)	533 理学療法技術セミナーⅡ(L)	
	○	○		○	○			122 現代医療と福祉・介護(B) 128 生活と社会環 境(A) 286 公衆衛生学(H)	560 生活環境学(M) 528 日常生活活動学(L)	530 日常生活活動学実習(L) 564 地域理学療法学 (M) 566 地域理学療法学演習(M)	
	○	○		○				152 物理学(C)	500 物理療法学(L)	502 物理療法学実習(L)	
疾病や障害の理 学療法評価	○	○	○				442 理学療法評価学Ⅰ(K)	443 理学療法評価学Ⅱ(K) 446 理学療法評価学 実習Ⅰ(K) 447 理学療法評価学実習Ⅱ(K)			
理学療法士に必 要な教養						○	○	120 日本国憲法(B) 132 キャリア入門(B)	135 キャリア形成(B)	134 キャリアビジョン(B)	
						○	○	170 英語Ⅰ(D) 171 英語Ⅱ(D)	172 英語Ⅲ(D)		
							○	178 中国語Ⅰ(D) 179 中国語Ⅱ(D)			
							○	186 ロシア語Ⅰ(D) 187 ロシア語Ⅱ(D)			
					○		196 生涯スポーツⅠ(E) 197 生涯スポーツⅡ(E)				

科目名の右側のカッコ内の記号は以下に示された科目の分野を表す

教養科目                      A 人間と文化                      B 社会と制度                      C 自然と科学                      D 外国語                      E スポーツと健康  
 専門基礎科目                F 人体の構造と機能及び心身の発達                G 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進                H 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

理学療法学科 カリキュラムマップ (2016年度～ 2018年度入学生)	ディプロマポリシーとの関連							開講年次			
	理学療法を行うための基本的な専門的知識・技術を身につけている	理学療法学やリハビリテーション医学の進歩に対応できる能力を身につけている	理学療法学における課題を論理的に探求する能力を身につけている	対象者に配慮しながら理学療法士として主体的に行動できる	医療に関わる他の職種との役割を理解し、協働関係を築くことができる	幅広く教養を高める意識と、理学療法学の発展に貢献するという使命感を持っている	理学療法士としての臨床場面での技能や研究におけるコミュニケーション能力を身につけている	1年次	2年次	3年次	4年次
臨床実習と4年間の総まとめ	○		○	○			○	701 臨床実習Ⅰ(N)	702 臨床実習Ⅱ(N)	703 臨床実習Ⅲ(N)	704 臨床実習Ⅳ(N) 705 臨床実習Ⅴ(N) 580 理学療法総合セミナー(L)
研究力をみがく		○	○				○	102 文章表現(A) 158 情報処理Ⅰ(C) 159 情報処理Ⅱ(C) 156 統計の基礎(C)		414 医療統計学(J) 288 統計と社会調査法(H) 410 理学療法研究法(J) 412 理学療法研究セミナー(J)	601 理学療法研究Ⅰ(J) 602 理学療法研究Ⅱ(J)
医療と理学療法		○		○	○		○	100 総合教養講座(A) 282 医学概論(H) 284 リハビリテーション概論(H) 400 理学療法概論(J) 314 リハビリテーション医学(G)	164 食生活論(A) 340 臨床栄養学(G)	384 チーム医療概論(H) 402 理学療法管理学(J)	
							○	110 心理学概論(A)	338 臨床心理学(G)		
基礎医学	○							202 解剖学Ⅰ(F) 203 解剖学Ⅱ(F) 408 基礎解剖学実習(J)	207 応用解剖学実習(F)		
	○				○			210 生理学Ⅰ(F) 211 生理学Ⅱ(F) 150 生命科学(C)	154 基礎化学(C) 214 生理学実習(F) 404 運動生理学(J)	318 救急医学(G) 344 薬理学(G)	
	○				○			226 運動学Ⅰ(F)	227 運動学Ⅱ(F) 230 運動学実習(F)	232 リハビリテーション工学(F) 532 理学療法技術セミナーⅠ(L)	
疾病や障害の理解とその理学療法	○			○				310 精神医学Ⅰ(G)	311 精神医学Ⅱ(G)		
	○			○					316 老年医学(G)	562 高齢者理学療法学(M)	
	○	○		○				300 病理学(G)	302 内科学(G)	520 内部障害理学療法学(L) 522 内部障害理学療法学実習(L)	
	○	○		○				200 人間発達学(F)	308 小児科学(G)	524 発達障害理学療法学(L) 526 発達障害理学療法学実習(L)	
	○	○		○					304 整形外科学(G)	512 運動器障害理学療法学(L) 514 運動器障害理学療法学実習(L) 508 義肢装具学(L) 510 義肢装具学実習(L)	534 理学療法技術セミナーⅢ(L)
	○	○		○					306 神経内科学(G)	516 神経障害理学療法学(L) 518 神経障害理学療法学実習(L)	
	○	○		○					406 病態運動学(J) 320 リハビリテーション障害学(G) 504 基礎運動療法学(L)	533 理学療法技術セミナーⅡ(L)	
	○	○		○					336 言語障害治療学(G)	450 高次脳機能障害学(K)	
	○	○		○	○			122 現代医療と福祉・介護(B) 128 生活と社会環境(A) 286 公衆衛生学(H)	560 生活環境学(M) 528 日常生活活動学(L)	530 日常生活活動学実習(L) 564 地域理学療法学(M) 566 地域理学療法学演習(M)	
	○	○		○				152 物理学(C)	500 物理療法学(L)	502 物理療法学実習(L)	
疾病や障害の理学療法評価	○	○	○					442 理学療法評価学Ⅰ(K)	443 理学療法評価学Ⅱ(K) 446 理学療法評価学実習Ⅰ(K) 447 理学療法評価学実習Ⅱ(K)		
理学療法士に必要な教養							○	120 日本国憲法(B)	133 現代社会とキャリアプランⅠ(B)	134 現代社会とキャリアプランⅡ(B)	
							○	170 英語Ⅰ(D) 171 英語Ⅱ(D)	172 英語Ⅲ(D)		
							○	178 中国語Ⅰ(D) 179 中国語Ⅱ(D)			
							○	186 ロシア語Ⅰ(D) 187 ロシア語Ⅱ(D)			
							○	196 生涯スポーツⅠ(E) 197 生涯スポーツⅡ(E)			

科目名の右側のカッコ内の記号は以下に示された科目の分野を表す

教養科目                      A 人間と文化                      B 社会と制度                      C 自然と科学                      D 外国語                      E スポーツと健康  
 専門基礎科目                F 人体の構造と機能及び心身の発達                G 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進                H 保健医療福祉とリハビリテーションの理念